



至誠・致知・鍛錬

北杜市立高根中学校
学校だより
発行 校長 中村 忍
令和2年度 第7号
9月16日発行

「人生のピットイン（じんせいのぴっといん）人生を走り抜くために、エネルギーを充電して再スタートする場所」友と共に切磋琢磨しながら、心配事や不安というカーブを乗り越え、達成感や充実感というエネルギーを心に充電して、今という価値ある瞬間を自信をもって疾走していきたい。



「ハヶ嶺祭」ありがとうございました

9/12（土）・13（日）の第58回ハヶ嶺祭では、コロナ対策にご理解をいただきながら、ご来賓、保護者の方々にご来校いただき、そして、生徒の輝く姿を応援していただき、本当にありがとうございました。「Rainbow～理想郷への架け橋～」のテーマのもと、若いエネルギーを爆発させて、協働という作業を経験しながら、高根中と理想郷を結び架け橋をつくりあげることができたと思います。

これからも、コロナ禍の中でも、教育効果の高い行事を通して、長所の種を育てる教育（誰もが気付かなかった価値を発見して、認めあう教育）を進めていきたいと思ひます。そして、生徒が心で見える視野を広げ、友だちの価値を見付けることで、種だったものが成長して自信となり輝き出す、そんな仲間づくりをしていきたいと思ひます。

コロナ対応をしながら、生徒の輝く場所、感動する機会を中止することなく、開催、実施していきたいと考えています。どうか、保護者の皆様のご理解とお力をお貸しください。「チーム高根中」として、生徒を支えていきたいと思ひます。



「吹奏楽部発表」

待ちに待った吹奏楽部の発表が、やっと実現しました。昨年度は、西関東大会出場、県アンサンブルコンテストダブル金賞と、素晴らしい成績で、卒業生から在校生に最高のバトンタッチがされました。

しかし、コロナのために出鼻をくじかれ、早々と県吹奏楽コンクールが中止となり、目標とするものを見失い、くじけそうになったことと思ひます。こうして、学園祭という発表の場をいただく中で、特に3年生は、集大成として、感動の姿を見せてくれました。本当に素晴らしい演奏をありがとうございました。



「太鼓愛好会発表」

30名の会員で始まった令和2年度の太鼓愛好会は、8月下旬から朝練習を開始し、放課後の部門練習では、外部の専門家の方にもご指導いただく中で発表を迎えることができました。

コロナの影響で、太鼓愛好会の皆さんは、例年通りのスタートができず、大変苦勞をしたことと思ひます。また、他の部活動等と兼ねている生徒もいる中で、よくここまで発表にこぎ着けたと思ひます。

息の合った、迫力ある演奏が体育館中に響き渡り、とても格好よく発表できたと思ひます。



「1学年発表」

1年生は、1学期に体験学習や調べ学習をした福祉について発表しました。

みんなの幸せとは、どんな幸せなのか、高齢者福祉、障害者福祉、コロナ対策を通して、感じ取り、考え、実践に繋げる学習ができたことと思ひます。目配り、気配り、声かけをしながら、周りのみんなと支え合う社会を築ける人に成長してほしいと思ひます。手話と共に合唱した「世界に一つだけの花」に込められた1年生の思いがひしひしと伝わってきました。

2ヶ月遅れの中学校生活のスタートでしたが、1年生が、まっすぐに成長している姿を見ることができました



「2学年発表」

2年生は、学年劇「ジグソー」を発表しました。ステージ下の「宝屋」の名演技で幕が開き、あっという間に会場の観客をひきつけることができたと思います。ステージ下、人間の幕、中の引き幕の3つのステージでうまく構成されていて、次は何が起きるんだろうと、ワクワク感あふれるダンスも最高でした。「どんな小さなピースでも必要」＝「この世界にたったひとりしかいない自分も必要な人間」だから、自分だけしか歩けない道をしっかり歩いて行こう！という力強いテーマも感じ取ることができました。



「3年2組発表」

3年2組は、学級劇「魔王の城」を発表しました。とにかく、衣装、演技者、配役が抜群にマッチしていました。また、昔、ハマってしまったゲームのドラゴンクエストを連想させる場面がいくつもあり、なつかしさも感じました。とにかくギャグや笑いのオンパレードで、アドリブで演技できる姿にも驚きを感じました。一人ひとりの演技力が素晴らしかったと思います。さすが、3年間経験してきた最高学年の劇だったと思います。これからも、限られた中学校生活の中で、自分のために、高根中のために、たくさんの輝きを放ってほしいと思います。



「3年1組発表」

3年1組は、学級劇「高根のシンデレラ」を発表しました。ギリギリに仕上がったお城の背景画は、豪華で迫力のあるものとなりました。また、演技からは、生徒の普段とは違う意外な面を知ることもできました。八巻先生が高根のマドンナになったり、王子様チーム（スマイル）でみんなが倒れたり、エンディングで担任の望月先生を巻き込んだり等、全員で楽しくつくり上げようとする意図が伝わってきました。友だちと協働して、一つのものをつくり上げていく3年生の姿を見ることができました。これからも、チーム高根中として、最高学年の心を後輩に伝えていってほしいと思います。



「体育の部」

コロナの関係で、八ヶ嶺祭2日目の体育の部は、半日での開催となりましたが、たくさんの方にご参観いただきありがとうございました。朝練習、放課後練習を通してクラスの団結力を図り、汗と涙をいっぱい流しながら、思い出の一コマがくれたことと思います。

「時間を贈る」～人のために、自分の時間の一部を費やすこと～
自分の時間をクラスみんなのために費やして、人生の一コマを最高の生き方にしていく、そんなページを心に積み重ねる機会となったのではないのでしょうか。

～生徒の皆さん、最高の感動をありがとうございました！～



「チーム高根中」

教職員29名 生徒200名 保護者188名が

「チーム高根中」として取り組んでいます。

学校住所：〒408-0019 北杜市高根町村山東割98

電話：0551-47-2026 FAX：0551-47-2075

新ホームページ <http://takanejhs.main.jp> もご覧ください。